

サプライヤー:資材調達方針

ムラタは、「良い機器は良い部品から、良い部品は良い材料から」という基本理念に基づき、国内外を問わず広く、より良い仕入先と取引ができる環境を整え、資材調達を行っています。

仕入先との取引の基本姿勢

ムラタは倫理・法令及びその精神に基づき、仕入先との取引を行っています。

また、ムラタの購買担当者は、私的関係を排除し、仕入先に公平・公正かつ誠実に対応することを、業務の基本としています。

このため、これらに関する社内規則やマニュアルを作成し、社員全員への教育を徹底しています。



仕入先との取引に関するガイドライン

(1) より良い仕入先との取引

仕入先の選定に際しては、品質・価格・納期・環境負荷低減活動などの合理的基準に基づく公平・公正な評価を旨としています。常に門戸を広げ、公明正大な取引を実施しています。

(2) 品質・納期の重視

ムラタは、より良い品質の製品をタイムリーにお客様に提供するために、品質・納期を重視しています。そのひとつとして、仕入先に、「仕入先様のための品質管理マニュアル」を配付し、仕入先での品質改善や品質保証に役立てていただいています。ムラタは、定められた品質・納期を遵守できる仕入先との取引を求めています。



仕入先様のための品質管理マニュアル

(3) 環境負荷軽減活動の重視

ムラタは、より環境にやさしい製品をお客様に提供するため、環境負荷軽減の活動を積極的に展開しています。ムラタが環境によい製品を作るためには、調達する資材が環境によいものであり、環境によいプロセスによって供給されたものでなければなりません。このような考えのもと、ムラタの『環境基本方針』に基づき、「仕入先グリーン度評価」と「資材グリーン度評価」からなるグリーン調達の仕組みを確立し、生産材の調達を推進しています。

また、非生産材についても、環境負荷の低減を目的としたグリーン購入の取り組みを全社レベルで展開し、実績の公表を予定しています。

関連 20ページ

(4) VE活動*の重視

電子機器産業は、技術革新と商品ライフサイクルのテンポが非常に早い業界です。また、価格競争も激しく、常に顧客ニーズに応える新商品の開発と価格の提供が基本となっています。VE活動による新資材の提供、コストの改善ができる仕入先との取引を求めています。

* VE活動
Value Engineeringの略称。日本VE協会では「最低のライフサイクルコストで、必要な機能を確実に達成するために、製品やサービスの機能的研究に注ぐ組織的な努力である」と定義しています。

(5) 情報提供の重視

電子機器産業は、常に技術革新が激しくこれらへの対応が最も重要な課題です。また、地球環境保護に関する法規制や環境に関するお客様からの要求も年々厳しくなっています。そのため、常に新しい技術、新しい商品(資料)の情報入手が必要です。これら情報が提供できる仕入先との取引を求めています。

(6) 資材調達期間短縮の取り組み

ムラタでは、お客様の要求の変動に敏速、柔軟に対応することで、お客様に満足いただけるよう、資材調達期間短縮を最重要課題のひとつとして位置付けています。そのために、市場の変化に敏速、柔軟に対応し、資材調達期間を短縮できる仕入先との取引を求めています。

(7) 'MADE IN MARKET' への対応

ムラタの経営姿勢は 'MADE IN MARKET' を志向しています。このため、資材の調達も国内外を問わず生産地での調達を原則としています。国内外を問わず安定供給できる仕入先との取引を求めています。

(8) 機密の厳守

ムラタは、取引に必要な情報はできる限り仕入先に提供するように心がけています。従って、提供する情報の中にはムラタの企業機密に関する情報も含まれています。また、ムラタにおいても、仕入先よりいただいた情報については、機密管理を徹底しています。ムラタは情報の機密が守られる仕入先との取引を求めています。

(9) IT活用推進の重視

IT、ネットワークを活用した仕入先との情報交換は、業務のスピードアップ、仕入先との関係強化に、今後不可欠と考えています。そのために、IT環境の整備と活用を推進していただける仕入先との取引を求めています。